



1階鑑賞室 定員30名 先着順 無料 14:00～(13:30開場)

9月5日(金) 名作映画鑑賞会

「永遠の門 ゴッホの見た未来」

※日本語字幕上映 (2017年・劇映画・カラー・112分)

9月12日(金) 金曜映画会

「掘る女 縄文人の落とし物」

(2022年・教養・カラー・111分)

9月19日(金) 郷土に親しむ映画会

「吉見の百穴 (さきたまの丘から)」 (1981年・教養・カラー・20分)

「さきたま古墳群 (さきたまの丘から)」 (1983年・教養・カラー・20分)

9月25日(木) 金曜映画会

「ぼけますから、よろしくお願ひします。おかえりお母さん」

(2022年・教養・カラー・101分)

お問い合わせ

埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

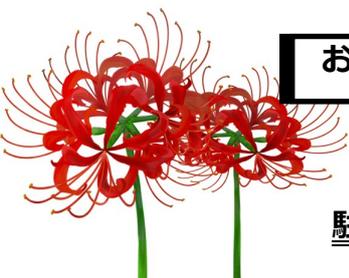
TEL 048-523-6291



埼玉県のマスコット

コバトン

駐車台数に限りがあるため公共交通機関での来館にご協力ください。



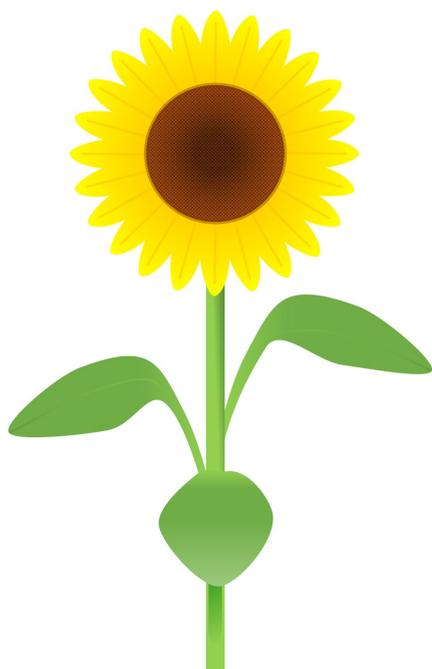
名作映画鑑賞会

9月5日(金)

14:00～

「永遠の門 ゴッホの見た未来」

(劇映画・カラー・112分)



— ゴッホが感じ取ったもの —

19世紀のフランスのパリでは、画家であるゴッホの絵は全く評価されませんでした。新しい場を求め、南フランスのアルルへ向かったゴッホは、パリとは異なった自然豊かな風景に心を奪われます。そんな中、以前パリで知り合ったゴーギャンと再会し、ゴーギャンに心酔するゴッホは二人で暮らし出します。ですが、ともに暮らしていくと、お互いの絵に対する感覚が違ってくるのが分かり始め、二人は共同生活を解消します。その後、様々なことから療養所生活となるゴッホ、そこで神父に話したことは…。

※この作品は県立久喜図書館のDVDです。

金曜映画会

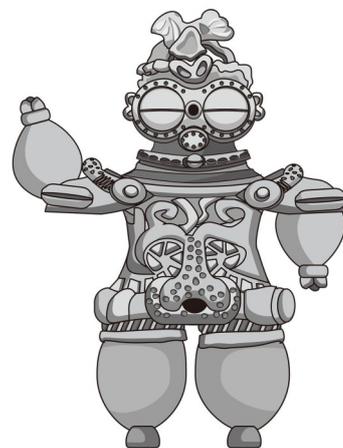
9月12日(金)

14:00～

「掘る女 縄文人の落とし物」

(教養・カラー・111分)

縄文文化が再評価されている今日では、燃えるような形をした土器やかわいい姿をした土偶たちは、多くの人をひきつけます。発掘を記録したドキュメンタリー映像は、縄文の遺物ではなく発掘に魅せられた女性たちに焦点をあて、男性優位の考古学会に夢中で発掘する彼女たちの生き生きとした姿を映し出します。



※この作品は県立熊谷図書館のDVDです。

郷土に親しむ映画会

9月19日(金)

14:00～

吉見の百穴（さきたまの丘から） (教養・カラー・20分)

吉見町の西地区の岩肌に無数に空いた穴があります。これはおよそ1400年前に作られたお墓です。200以上の横穴があることが分かりました。この映画では、発掘調査に関わった方の子孫や百穴を訪ねます。

※上記作品は16ミリフィルムです。

さきたま古墳群（さきたまの丘から） (教養・カラー・20分)

行田市にあるさきたま古墳群。ここは国宝の金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）が出土した場所でもあります。ここでは古墳ごとの特徴や歴史を辿ります。

※上記作品は16ミリフィルムです。

木曜映画会

9月25日(木)

14:00～

「ぼけますから、よろしくお願ひします。おかえりお母さん」

(教養・カラー・101分)

広島県呉市に住む文子さんは、85歳でアルツハイマー型認知症になってしまいます。夫良則さんが妻文子さんを自宅で介護をすると決めます。東京で働いている娘も応援に駆け付けますが、認知症はさらに進行し、脳梗塞も発症してしまいます。入院した妻がいつでも帰宅でき、支えられるように体づくりを始める良則さんでしたが、2度目の脳梗塞を発症してしまい、病状はさらに悪化してしまいます。

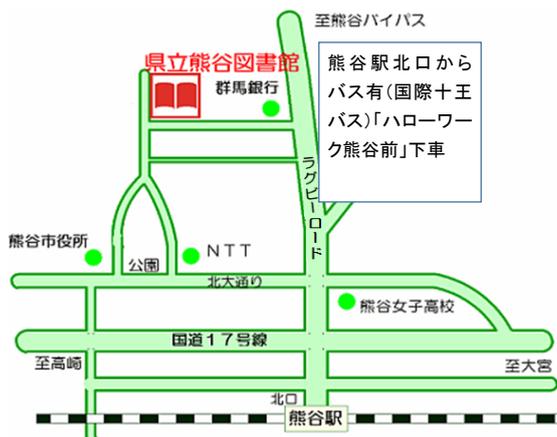
※この作品は県立久喜図書館のDVDです。

* 10月の映画会 *

10月10日(金)	名作映画鑑賞会	14:00～	「マチネの終わりに」(カラー・124分)
10月17日(金)	金曜映画会		「つばめを動かす人たち」(カラー・24分) 「雪にいどむ」(カラー・29分)
10月23日(木)	郷土に親しむ映画会		「農民のロケット 吉田の竜勢」(カラー・20分) 「秩父の通過儀礼 その3 若衆組と龍勢」 (カラー・38分)

* 埼玉県立熊谷図書館アクセス地図 *

(上映する作品は変更となる場合があります。)



公共交通機関でのご来館にご協力ください。

編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目6番1号

TEL 048-523-6291

埼玉県立図書館WebサイトURL

<https://www.lib.pref.saitama.jp/>

2025.8月発行